

朝のあいさつ運動

2月のあいさつ運動を24日(火)～27日(金)に行っています。実は、先週16日(月)～20日(金)6年生が総合的な学習の時間の取組として「あいさつ運動」を行ったので、登校してくる子ども達にとっては2週間続けてのあいさつ運動となりました。

3学期に入り、正門で自分からあいさつをする子が増えました。そして、元々あいさつをしていた子のあいさつの声が大きくなりました。校長の独り言ですが、最近耳が遠くなってきました。普段の会話も少しずつ聞きとりにくくなり、聞き返すことも多くなっています。そのような状況ですから、朝、大きな声であいさつをする子どもたちの声は大変、聞きとりやすく、こちらもさらに大きな声であいさつができます。以前、「僕、校長先生にあいさつしたのに、あいさつをしてくれなかった」と話を聞いたことがあります。翌日、その子を見たのですが、かすかに口は動いているのですが、声はよく聞こえませんでした。多くの子ども達が一斉に登校してくる状況では、大きな声であいさつをしてくれた子の声はよく聞こえます。あと、会釈をしてくれる子も一目でわかります。あいさつは、相手に伝わらなければわかりません。せっかくあいさつを頑張っているのですから、もうひと頑張りして相手に伝わるあいさつができるようになってほしいです。

